

「研究テーマ」

## 『自分で考え、自分の意志で行動できる生徒の育成』

兵庫県加西市立泉中学校 主幹教諭 金澤 三喜男

### 1. はじめに

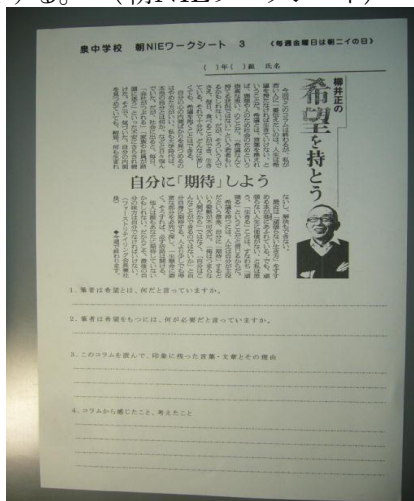
本校の研究テーマは「自分で考え、自分の意志で行動できる生徒の育成」である。2年前にNIE実践指定校に選ばれたのを機に、従来の研究推進にNIE活動を加えた。

自ら考え、判断し、行動する力の土台は「読解力」「表現力」「思考力」である。それらの力をNIEで培うことができると考え、学校全体でカリキュラムを組み、総合的な学習の時間に取り組んだ。

### 2. 実践の概要(具体的な取組について)

#### ①朝NIE(1学期)

- ・毎週金曜日の朝10分で、新聞記事を貼ったワークシートに取り組む。
- ・記事を読んで内容をつかみ、感想を書く活動をする。(朝NIEワークシート)



#### ②朝NIE(2学期)

- ・毎週金曜日の朝の10分で取り組む。
- ・1学期の「読む」「書く」活動から「聞く」「話す」活動に取組を発展させた。
- ・班の代表者が、家で関心のある新聞記事をワークシートに貼ってきて、その記事について班内で話し合いを進める。

(朝NIEの掲示物)



#### ③NIEの時間(5月…4時間)

- ・書き写しノートを参考にしたワークシートを作成する。
- ・コラムの書き写しをして、言葉の意味調べ、感想等を書く。
- ・コラムを読んで、人の生き方から自分の生き方について考える。

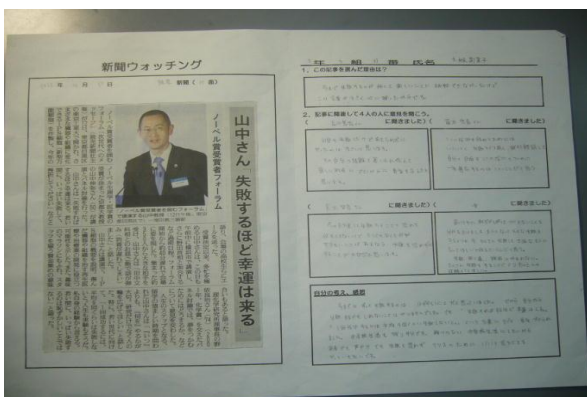
#### ④NIEの時間(7月…4時間)

- ・日本新聞協会主催「いっしょに読もう!新聞コンクール」に取り組む。
- ・記事を選び、ワークシートにその記事を貼り、選んだ理由を書く。
- ・初発の感想を書き、友達や家族に記事についてのインタビューをする。
- ・話し合った後の自分の考えを書き、班内やクラス内で発表する。
- ・全員のワークシートをコピーしておき、2学期にかけて、全員のワークシートを廊下に掲示する。
- ・コンクールに出品、学校賞と個人奨励賞3編を受賞する。

#### ⑤NIEの時間(10月…4時間)

##### 「新聞ウォッチング」

- ・記事を選び、ワークシートに貼り、初発の感想を書き、友達等に思いを伝える。
- ・友達や家族にその記事についてのインタビューをする。
- ・最後にもう一度自分の考えを書く。

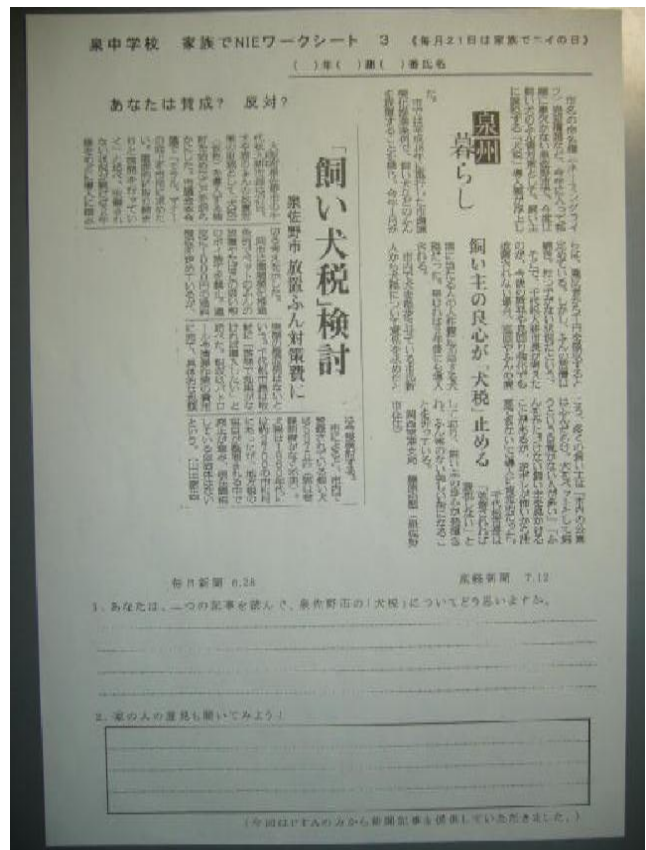


#### 「リレー意見文」

- ・記事を選び、ワークシートに貼る。
- ・意見文を班内でリレーしながら書き上げる。
- ・具体的には、「起」は自分で書き、「承」「転」は班の友達に書いてもらい、「結」はもう一度自分で書く。
- ・1時間計画で取り組んだが、時間的に少しきつかった。

#### ⑥家族でNIE

- ・「21」を「にい」と読んで、毎月21日を「家族でNIE」の日に設定する。
- ・ワークシートをもとに家族で新聞記事について話し合い、自分の考えをまとめる。
- ・生徒や保護者の方の意見をNIE通信「つながる」で紹介する。



### ⑦NIE通信「つながる」

- ・全校生徒、保護者の意見をNIE通信「つながる」を使って、紹介する。
- ・月に2回程度作成し、全校生に配付する。
- ・家庭でのNIEの啓発活動を行う。



### ⑧NIE講演会 (NIE記者派遣事業)

- ・神戸新聞社 本校卒業生 切貫滋巨記者を迎えて行う。
- ・テーマ「記者になった動機」「新聞記者の仕事」「みんなに伝えたいこと」
- ・「しんどいは楽しい」というメッセージが生徒の心に残る。



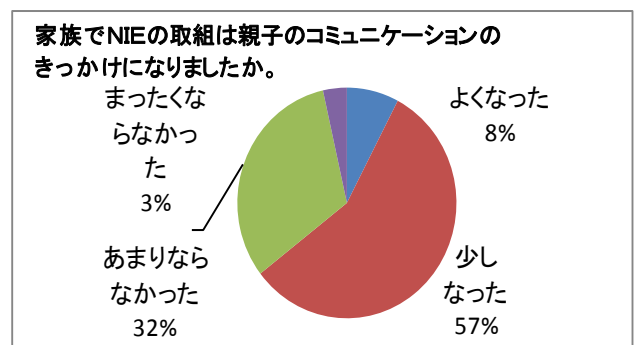
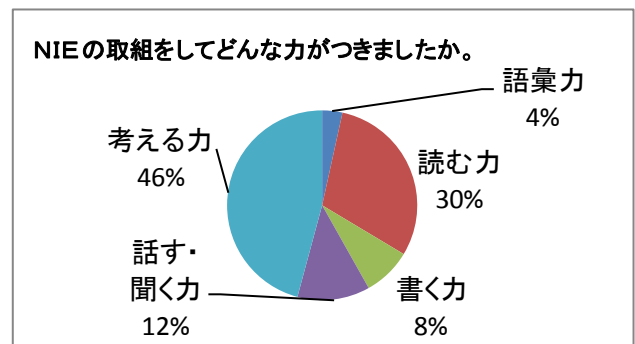
### ⑨夏休みのNIE職員研修会

- ・NIE特任アドバイザーで伊丹市立笹原中学校校長の岡本光子先生をお招きし、2学期に行うNIEの授業「新聞ウォッチング」「リレー意見文」の具体的な研修を行う。
- ・職員が生徒になり、ワークショップ形式で岡本先生に教えていただく。



## 3. 成果と課題

### ①生徒(上)、保護者(下)アンケート結果より





## ②成果

- ・新聞に親しみ、新聞を読む生徒が増えてきた。
- ・「書く」ことに対する抵抗感がなくなり、意欲的に書こうとする生徒が増えてきた。
- ・「読む」「書く」だけでなく、「話す」こと「聞く」ことの楽しさや大切さがわかり始めた。
- ・多くの家庭で、NIEが親子のコミュニケーションのきっかけになった。
- ・「読む」ことに対する抵抗感がなくなり、「読む」「考える」習慣が付き始めた。
- ・自分の思いや考えを他者に伝え、他者の思いや考えを理解する力が、向上しつつある。

## ③課題

- ・新聞を読む習慣の向上
- ・「読解力」「表現力」「思考力」のさらなる向上
- ・より多くの家庭を巻き込んだNIE活動の推進
- ・自分の思いや考えを他者に伝え、他者の思いや考えを理解する力のさらなる向上



**実践校3校が  
授業内容紹介**  
神戸で60人参加

新聞を教材にして授業を展開する運動(NIE)を進める県NIE推進協議会(会長||杉本健三・神戸山手大教授)の実践発表会(読売新聞社など後援)が26日、神戸市中央区の神戸山手大であった。県内の実践校25校のうち3校が授業内容を紹介し、教諭ら約60人が聞き入った。

豊岡市立福住小は、1年生は気に入った写真や絵を新聞から切り抜き、6年生は記事を選んで下級生に紹介するなど、学年に応じて

(読売新聞 13.1.27)

(NIE実践発表会を紹介する新聞)

## 4. 終わりに

平成23年度からNIE実践指定校の認定を受け、2年間様々なNIEの取組を試行錯誤しながら行ってきた。

そして、この2年間の取組の中で「自分で考え、自らの意志で行動できる生徒の育成」という本校の研究テーマを達成させるためにNIEがたいへん有効であることを確信した。

特に、心を打つ新聞記事を読み、自分で考え、仲間や家族とともに読み深めることによって、自分の生き方を「考える」ことができるようになってきた。来年度も魂を揺さぶるような新聞記事を子供たちと読み、考え、共に成長していきたい。

